

キャリアアッププログラム2017（2学期）講座シラバス

【エントリー科目】

科目名	実務に役立つ経理入門	
副題	経理の基本をマスターし、実務につなげたいあなたのために	
受講対象者	経理実務のことを知りたい人を対象とします。簿記や経理に関する入門書を読んでも、専門用語が最初から出てきて難しいと感じている方や、仕訳のルールや決算の流れがピンとこないと思われる方、会社の経理担当者が財務諸表をどのように作成しているのかを知りたいと思っている方などを対象としています。	
講座概要	経理実務を意識しながら、専門用語を日常用語に言い換えて、分かり易く解説します。簿記の中心テーマは「仕訳」と「決算」の二つです。企業経営を経理の視点から把握するための基礎知識を獲得できるように講義します。 最初にそもそもなぜ簿記が必要なのかを解説し、取引を貸方と借方の2つの方向から見る複式簿記の考え方を納得してもらいます。そして、各種の取引の処理方法を紹介し、会計帳簿の記入方法やや会計伝票の作成・集計などを演習してもらいます。最後に決算とは何かを解説し、貸借対照表と損益計算書の作成演習を行います。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複式簿記の基礎と財務諸表の構造を理解する 2. 取引を二面的に記録する仕訳のルールを理解し、仕訳が切れるようになる 3. 商品売買取引の帳簿記入を理解し、総勘定元帳への転記ができるようになる 4. 会計帳簿と会計伝票を理解し、伝票の集計ができるようになる 5. 決算の本質と実務を理解し、決算整理ができるようになる 	
授業計画 および開講日	第1回 10/13(金)	貸借対照表と損益計算書から何が読み取れるのだろうか？
	第2回 10/20(金)	“借方・貸方とは何か？
	第3回 10/27(金)	仕訳（しわけ）は、どのように考えて切るのだろうか？”
	第4回 11/10(金)	商品の売買に関する取引には、どのようなものがあるのだろうか？
	第5回 11/17(金)	“小切手・手形・有価証券などに関する取引を
	第6回 11/24(金)	どのように処理するのだろうか？”
授業の形式	座学	
授業の進め方	講師が作成した資料を使って進めます。最初に内容を理解し納得できるように簡潔に説明します。その際に、実際に体験した経理実務での面白い話や、原価計算の方法についても話します。	
教材などの追加負担	教材費の負担はありません。 ただ、どのようなものでも構いませんので、使い慣れた電卓をお持ちください。 参考文献として、次の本を紹介いたします。前田信弘著（2010）『簿記一年生』日本能率協会マネジメントセンター、¥1,365-	
受講者へのメッセージ	授業では、教科書的な学習簿記の話に加えて、経理実務の体験談も盛り込みたいと思います。日商簿記などの検定試験を受験したい場合には、過去問題を繰り返して解く必要があります。	
講師紹介	<p>餅川 正雄（もちかわ まさお） 経済学部 教養教育部 教授</p> <p>1956年広島県生まれ、1979年3月広島経済大学卒業、社会保険広島市民病院会計課経理係で予算・決算業務に従事しました。その後、広島県立広島商業高等学校の商業科教諭として簿記会計の指導を担当しました。中国五県簿記検定委員長を3年間務め、会計や原価計算の検定試験の作問を経験しました。広島県教育委員会事務局の指導主事、主任専門員を経験し、広島市立広島商業高等学校教頭を経て広島経済大学へ移りました。専門は、商業科教育法で、現在は高等学校「簿記」の指導方法について研究しており、大学でも簿記原理Ⅰや簿記2級検定演習などを担当しています。</p>	